

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
定期巡回 かつはら

令和3年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>情報共有や意見交換が定期的に行える仕組みを整え、統一したサービスの提供を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>端末を使用し、電子ツールを活用した情報の共有は行っているものの、定期訪問していることで事業所に滞在する時間が短く、すれ違いから職員間での十分な意見交換等が厳しいことを踏まえ、改善を図り、質の高いサービスと統一されたサービスの提供を実施したいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部署内会議を再開し、毎月意見交換を行う。少人数である点を活かし、状況に応じて、オンラインも活用する。 2. 会議録に沿って、不参加の職員とも意見交換を行い、新たな意見が出た場合は、その内容を追記し、他の職員に伝え、情報の共有と共通認識を図る。 3. 統一した訪問介護サービスを提供するため、必要な研修は会議の日に実施する。 4. 統一した訪問介護サービスがかなっているか、モニタリングを兼ねて、管理者と計画作成責任者が、利用者や家族に確認する日を設ける。 5. 法人内の朝礼などに出られないことが多いことから他部署に連絡ノートの閲覧を依頼し、法人全体の動きを確認・把握することに加え、事業所の職員間で申し送り、情報の共有と共通認識を図る。

令和3年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>月に1回、部署内会議を開催して意見交換する機会を作るよりも、日々の業務の中で直接接して意見を交換する機会を増やす方が、信頼関係が構築できると判断し、会議の開催ではなく、日々のミーティングと意見交換することに尽力した。</p> <p>研修には至らなかったが、日々、話し合いの場を増やしたことで、訪問時の不安や対応に困ったケース等の情報共有も行え、共通認識を図った。</p> <p>管理者と計画作成責任者のモニタリングを兼ねた訪問も実施したが、回数を伸ばすことはできず、情報共有に基づく統一された支援が継続して行えているかどうかの把握までは至らなかった。</p> <p>法人全体の動きを確認・把握するため、勤務調整を行い、年度末より朝礼に出席し、他部署との情報共有に努めた。</p> <p>4年度は情報共有や統一されたサービス提供が継続して行えているかどうかを確認する体制を作り、支援の質の向上に努めていきたい。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>今年度の月間の登録者数については、毎月、2件前後の新規依頼があったが、15名を下回る月が多く、開設以来最も低い人数となった。相談を受けても契約前や利用直前に他界されたことが半年連続で続くなど利用に繋がらないケースが相次いだことが、実績上新規の依頼者数が伸び悩んでいるように見え、登録者数が低迷した要因としてもあげられる。</p> <p>また、利用相談を受けても新型コロナウイルスから主たる介護者が在宅勤務となり、訪問の必要性が無くなり、利用に繋がらなかったケースも増えた。</p> <p>平均要介護度は、2前後を保っているものの、登録者数は要介護1と2の利用者が過半数以上を占める割合となっている。</p> <p>3年度は居宅介護支援事業所や医療機関の介護支援専門員やメディカルソーシャルワーカーと出会う機会を増やすことができなかつたため、4年度はアポイントのとり方を工夫するなど計画的に出会う機会を増やし、併設事業所を含め、当事業所を利用するメリットを伝えられるように努めていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 1.9》

令和4年3月31日 現在

	人数	割合
要介護 1	7	47%
要介護 2	3	20%
要介護 3	4	27%
要介護 4	1	6%
要介護 5	0	0%
合計	15	100%

月間訪問実績（人数）

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	3	4	5	4	5	5	5	5	7	6	5	7	61
要介護 2	6	7	5	5	5	5	5	5	4	4	4	3	58
要介護 3	1	2	2	2	2	2	1	1	3	3	3	4	26
要介護 4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	15
要介護 5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	12	16	13	12	13	13	12	12	15	15	14	15	162

月間訪問実績（延べ回数）

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	261	296	315	319	336	340	356	349	370	364	317	383	4,006
要介護 2	504	544	434	485	474	486	497	417	380	366	250	249	5,086
要介護 3	151	158	308	325	324	176	164	154	334	485	449	492	3,520
要介護 4	118	60	184	191	197	238	277	265	274	323	213	136	2,476
要介護 5	173	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228
合計	1207	1113	1241	1320	1331	1240	1294	1185	1358	1538	1229	1260	15,316

新規契約者数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	0	2	1	0	1	1	1	0	2	1	1	3	13

平均介護度推移

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	2.3	2.3	1.9	2.0	1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	2.1	2.1	1.9	1.9

年齢別構成状況

令和4年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	合計
		から 70歳未満	から 75歳未満	から 80歳未満	から 85歳未満	から 90歳未満		
男	1	0	0	0	3	2	1	7
女	1	0	1	2	3	0	1	8
全体	2	0	1	2	6	2	2	15

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
令和3年 11月12日	「運転中のマナーについて」 信号待ちしている車内で携帯電話を使用しているなどの交通ルールを無視した行動があったとの申し出がある。	①管理者が電話にて、謝罪し、今後、交通ルールを遵守した運転をするように指導を徹底する旨を説明すると理解が得られた。

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和3年 6月8日	「利用者宅駐車場の外壁との接触事故」 訪問後、車を後退させた際、左後輪付近と外壁が接触し、外壁に傷がつく。	①心に余裕を持った運転に努める。 ②発車前に駐車スペースの外壁との位置関係を把握する ③車幅間隔を身につけ、道幅が狭い住宅地では、ミラーなどで道路の状況を確認しつつ、慎重に操作する。 ④接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。
令和3年 7月29日	「公用車の擦り傷」 同行訪問終了後、他の車で来ていた職員が、もう1台の左後輪付近の傷があるのに気づく。	①傷つけた場合には、理由に関係なく、即、報告をするようにミーティングや連絡ノートにて周知を図る。 ②乗車前、降車後には、車体に異常が無いかどうかを確認し、記録に残す。
令和3年 10月17日	「前方不注意による追突事故」 前方の車との車間距離を見誤り、ブレーキの踏みも甘く、追突する。	①前方車両との車間距離を保ちつつ、運転する。 ②周囲状況を確認しつつ、慎重に運転する。 ③交通ルールを遵守し、状況に応じて、安全に停止できるように運転する。